|  |
| --- |
| No. |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局使用欄

**『国際交流基金日本語教育論集』第20号**

**応募用紙**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 投稿する原稿のカテゴリーにチェックしてください。 | | | 教育実践論文　　教材開発論文　　研究論文  研究ノート　　　報告 |
| (ⅰ)  執  筆  者 | 氏　名 | 日本語（漢字、カナ） （例）基金 花子、キキン ハナコ　※姓と名の順番は原則として出身国の慣用に従ってください。 | |
| 英語（アルファベット）　（例）KIKIN Hanako　※姓と名の順番は原則として出身国の慣用に従ってください。  姓がある場合は、姓を大文字表記にしてください。 | |
| E-mail |  | |
| (ⅱ)  投  稿  資  格 | 所属機関 |  | |
| 職　名 | （例）日本語教育専門員、日本語上級専門家/日本語専門家、現地講師、職員（※日本語上級専門家/日本語専門家は、派遣期間を記入すること） | |
| 過去の所属機関等 | ※上記現在の「所属機関」が国際交流基金ではない場合で、過去に国際交流基金に在職したことがある者は、  　当欄に「元〇〇」といった形で、過去の所属機関、退職時の役職、所属期間を記載してください。  投稿資格(3)または(4)に該当する場合は、研修名、研修参加期間を記載してください。 | |
| (ⅲ)  題  名 | 日本語（漢字、カナ） | | |
| 英語 | | |
| (ⅳ) | 論文の長さ  ページ　（※日本語の場合：A4・横書き、42字×33行 ／ 英語の場合：半角86字×33行） | | |
| (ⅴ) | 要旨の長さ（※報告の場合は不要）  日本語　　　　　　 字（400字以内） | | |
| (ⅵ) | キーワード（5語以内）（※報告の場合は不要） | | |

原稿を投稿するにあたり、以下の項目にチェックしてください。

以下の項目に問題がある場合には、投稿されても受理されないことがありますので、ご注意ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 倫理的配慮 | この原稿は未発表であり、他の学術誌に同時に投稿していない。（審査中も含む） | はい　いいえ |
| 調査協力者に日本語教育論集掲載についての同意を得ている。 | はい　いいえ　該当せず |
| 国際交流基金が実施する日本語教育事業に関わる原稿については、当該事業の担当管理職等の事前確認を得ている。 | はい　いいえ　該当せず |
| 共同研究に  おける著作権 | 自ら関与した共同研究のデータを原稿に利用する際、共同研究者やデータの管理者に了解を得ている。 | はい　いいえ　該当せず |

*\*共同執筆の場合に使用*

|  |
| --- |
| No. |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局使用欄

**『国際交流基金日本語教育論集』第20号**

**応募用紙**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (ⅰ)  共  同  執  筆  者 | 氏　名 | 日本語（漢字、カナ） （例）基金 花子、キキン ハナコ　※姓と名の順番は原則として出身国の慣用に従ってください。 |
| 英語（アルファベット）　（例）KIKIN Hanako　※姓と名の順番は原則として出身国の慣用に従ってください。  姓がある場合は、姓を大文字表記にしてください。 |
| E-mail |  |
| (ⅱ)  所  属 | 所属機関 |  |
| 職　名 |  |
| 過去の所属機関等 | ※上記現在の「所属機関」が国際交流基金ではない場合で、過去に国際交流基金に在職したことがある者は、  当欄に「元〇〇」といった形で、過去の所属機関、退職時の役職、所属期間を記載してください。  投稿資格(3)または(4)に該当する場合は、研修名、研修参加期間を記載してください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (ⅰ)  共  同  執  筆  者 | 氏　名 | 日本語（漢字、カナ） （例）基金 花子、キキン ハナコ　※姓と名の順番は原則として出身国の慣用に従ってください。 |
| 英語（アルファベット）　（例）KIKIN Hanako　※姓と名の順番は原則として出身国の慣用に従ってください。  姓がある場合は、姓を大文字表記にしてください。 |
| E-mail |  |
| (ⅱ)  所  属 | 所属機関 |  |
| 職　名 |  |
| 過去の所属機関等 | ※上記現在の「所属機関」が国際交流基金ではない場合で、過去に国際交流基金に在職したことがある者は、  当欄に「元〇〇」といった形で、過去の所属機関、退職時の役職、所属期間を記載してください。  投稿資格(3)または(4)に該当する場合は、研修名、研修参加期間を記載してください。 |